2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月13日

上場会社名　　ビズメイツ株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　9345　　ＵＲＬ　https://www.bizmates.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）鈴木　伸明
問合せ先責任者　（役職名）経営戦略本部長　執行役員CFO　（氏名）和田　学　　ＴＥＬ　03（3526）2640

配当支払開始予定日　　－
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：有

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	2,555	△2.2	146	△30.4	142	△28.7	86	△36.5
2025年12月期第３四半期	2,612	2.0	209	△21.4	200	△16.5	136	△9.8

（注）包括利益　2026年12月期第３四半期　78百万円（△36.6%）　2025年12月期第３四半期　124百万円（△17.7%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	26.42	26.40
2025年12月期第３四半期	42.19	41.64

（注）当社は、2025年10月１日付で普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「１株当たり四半期純利益」および「潜在株式調整後１株当たり四半期純利益」を算定しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	2,737	2,004	73.2
2025年12月期	2,675	1,909	71.3

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　2,004百万円　2025年12月期　1,909百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	－	0.00	－	15.00	15.00
2026年12月期	－	0.00	－		
2026年12月期（予想）				15.00	15.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
当社は、2025年10月１日付で普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。2025年12月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,688	5.7	298	5.5	290	8.1	205	4.4	63.38

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
②　①以外の会計方針の変更　：無
③　会計上の見積りの変更　：無
④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	3,350,336株	2025年12月期	3,248,104株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	70株	2025年12月期	70株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	3,282,947株	2025年12月期３Ｑ	3,236,626株

（注）当社は、2025年10月１日付で普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として確約する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により変動する可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料Ｐ．３「１．経営成績等の概況　（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明内容の入手方法）

当社の決算補足説明資料につきましては、2026年11月13日（金）に当社ウェブサイトへ掲載いたします。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 9
（重要な後発事象の注記） …… 10

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第３四半期連結累計期間における我が国経済は、米国との通商政策合意により過度に悲観的な見方が後退し、景況感につきましても改善傾向が続いております。人手不足や物価高の影響により消費・物流関連の景況感は小幅に弱含む一方、都市部の再開発事業などの好調を背景に全体を下支えしております。外国人旅行者数は、コロナ禍前を大きく上回る水準で堅調に推移しており、一部では災害懸念の風評により一時的に落ち込む場面も見られたものの、足元ではその影響も一服し、持ち直しております。

オンライン語学学習市場におきましては、インバウンド観光客の増加やリカレント・リスキリング教育のニーズの高まりから、依然として英語学習の需要は強いものの英語学習アプリの存在感が高まっていることや、コロナの終息に伴いオフラインの語学教室へ回帰する動きが見られることから、市場規模は拡大しているもののその伸びは鈍化傾向にあります。

このような経済環境の中、当社グループの主力事業であるラーニングソリューション事業は、オンラインビジネス英会話「Bizmates」、英語学習アプリ「Bizmates App」、コーチング「Bizmates Coaching」によるAIと人の強みを融合させたハイブリッド型学習体験を提供することで、より一層の認知度向上を目指すと共に、グローバル人材の採用・転職支援等を行うタレントソリューション事業との相互補完関係の強化を図り全社的な事業拡大を推進しております。

尚、当社グループはこれまで「ランゲージソリューション事業」の名称のもと、オンライン英会話、コーチング、英語学習アプリ、オンライン日本語会話など、語学領域から「総合人材育成」の領域へと大きく拡大致しました。しかしながら、今般の異文化研修やビジネス研修の提供開始に加え、株式会社ヒップスターゲートのグループ参画をトリガーとして、階層別研修やDE&I研修など当社が提供可能なソリューションは従来の語学領域から「総合人材育成」の領域へと大きく拡大いたしました。これらを契機として、より広範な人材育成ニーズに対応し、事業ポートフォリオのさらなる拡大と企業価値の向上を図るため、当事業の名称をランゲージソリューション事業からラーニングソリューション事業へ変更することといたしました。

以上の結果、売上高は2,555,908千円（前年同期比2.2%減）、営業利益は146,010千円（前年同期比30.4%減）、経常利益は142,817千円（前年同期比28.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は86,722千円（前年同期比36.5%減）となりました。

セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

① ラーニングソリューション事業

主に、オンラインビジネス英会話、コーチング、ビジネス特化型学習アプリを組み合わせたハイブリッド型学習の訴求により、法人向けにつきましては順調に売上高を伸ばしました。一方、個人向けにつきましては、期首における受講者数が前年度を下回る水準から開始したことに加え、ストック型ビジネスの特性上、売上高は前年同期を下回る結果となりました。これらの結果、売上高は2,432,392千円（前年同期比2.4%減）、セグメント利益689,919千円（前年同期比12.5%減）となりました。

② タレントソリューション事業

IT人材に対する求人需要は引き続き増加傾向にあるものの、生成AIの普及に伴い求められるスキル構造の変化が進んでおります。これにより、コーディング等を担う担当者層の採用基準は厳格化が進む一方、プロジェクトマネージャー（PM）や高度領域における専門人材に対する需要は依然として高い水準で推移し、売上高は123,516千円（前年同期比3.5%増）と好調に推移いたしました。これにより利益構造も改善し、セグメント損失は62,734千円（前年同期間はセグメント損失97,056千円）となりました。

（２）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における資産合計は2,737,972千円となり、前連結会計年度末に比べ61,989千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が30,856千円減少、ソフトウエアが17,827千円減少した一方で、のれんが153,109千円増加したことによります。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における負債合計は733,052千円となり、前連結会計年度末に比べ33,877千円減少いたしました。これは主に、未払法人税等が9,029千円増加した一方で、長期借入金が24,762千円減少、未払消費税が23,233千円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産合計は2,004,919千円となり、前連結会計年度末に比べ95,867千円増加いたしました。これは主に、資本剰余金が65,695千円増加、利益剰余金が37,957千円増加した一方で、為替換算調整勘定が11,348千円減少したことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の連結業績予想については、2026年２月13日に公表しました「2025年12月期決算短信」から変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,673,871	1,643,014
売掛金	37,998	51,932
商品及び製品	1,373	2,023
その他	121,732	92,677
流動資産合計	1,834,975	1,789,648
固定資産		
有形固定資産		
建物	297,203	295,403
減価償却累計額	△50,839	△63,647
建物（純額）	246,364	231,756
工具、器具及び備品	154,557	156,063
減価償却累計額	△86,974	△98,522
工具、器具及び備品（純額）	67,583	57,540
有形固定資産合計	313,947	289,296
無形固定資産		
ソフトウエア	401,100	383,272
ソフトウエア仮勘定	15,158	11,463
のれん	－	153,109
無形固定資産合計	416,258	547,845
投資その他の資産		
繰延税金資産	28,727	20,375
敷金及び保証金	82,073	82,528
その他	－	8,278
投資その他の資産合計	110,801	111,182
固定資産合計	841,007	948,324
資産合計	2,675,982	2,737,972

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	26,139	29,296
未払金	211,815	202,046
１年内返済予定の長期借入金	53,332	48,970
未払法人税等	9,340	18,369
未払消費税等	56,456	33,223
契約負債	236,652	241,690
賞与引当金	－	1,425
その他	11,801	15,820
流動負債合計	605,537	590,841
固定負債		
長期借入金	36,670	11,908
資産除去債務	110,223	111,360
退職給付に係る負債	14,499	14,491
繰延税金負債	－	4,451
固定負債合計	161,392	142,211
負債合計	766,930	733,052
純資産の部		
株主資本		
資本金	132,872	133,193
資本剰余金	482,676	548,372
利益剰余金	1,263,582	1,301,539
自己株式	△63	△63
株主資本合計	1,879,068	1,983,042
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	29,750	18,402
退職給付に係る調整累計額	－	3,460
その他の包括利益累計額合計	29,750	21,863
新株予約権	217	－
非支配株主持分	14	14
純資産合計	1,909,051	2,004,919
負債純資産合計	2,675,982	2,737,972

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	2,612,234	2,555,908
売上原価	624,897	646,019
売上総利益	1,987,337	1,909,889
販売費及び一般管理費	1,777,667	1,763,878
営業利益	209,670	146,010
営業外収益		
受取利息	2,145	4,014
中途解約収入	80	38
雑収入	624	539
営業外収益合計	2,849	4,591
営業外費用		
支払利息	1,089	914
為替差損	10,131	5,888
その他	1,102	981
営業外費用合計	12,322	7,785
経常利益	200,196	142,817
税金等調整前四半期純利益	200,196	142,817
法人税、住民税及び事業税	49,464	43,269
法人税等調整額	14,163	12,824
法人税等合計	63,628	56,093
四半期純利益	136,568	86,723
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	136,567	86,722

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益	136,568	86,723
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△12,311	△11,348
退職給付に係る調整額	－	3,460
その他の包括利益合計	△12,311	△7,887
四半期包括利益	124,257	78,835
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	124,257	78,835
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		合計	調整額（注）1	四半期連結損益計算書計上額（注）2
	ラーニングソリューション事業	タレントソリューション事業			
売上高					
外部顧客への売上高	2,492,869	119,365	2,612,234	－	2,612,234
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	2,492,869	119,365	2,612,234	－	2,612,234
セグメント利益又は損失（△）	788,171	△97,056	691,115	△481,445	209,670

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額△481,445千円は各報告セグメントに配賦していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門の一般管理費であります。

２．セグメント利益又は損失（△）は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		合計	調整額（注）1	四半期連結損益計算書計上額（注）2
	ラーニングソリューション事業	タレントソリューション事業			
売上高					
外部顧客への売上高	2,432,392	123,516	2,555,908	－	2,555,908
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	2,432,392	123,516	2,555,908	－	2,555,908
セグメント利益又は損失（△）	689,919	△62,734	627,185	△481,174	146,010

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額△481,174千円は各報告セグメントに配賦していない全社費用およびのれん償却費が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門の一般管理費であります。

２．セグメント利益又は損失（△）は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

３．当第３四半期連結累計期間より、事業領域の拡大に伴い、従来の「ランゲージソリューション事業」の名称を「ラーニングソリューション事業」に変更しております。これは、名称の変更のみであり、セグメントの区分に与える影響はありません。

２．報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)
当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 (自2025年１月１日 至2025年９月30日)	当第３四半期連結累計期間 (自2026年１月１日 至2026年９月30日)
減価償却費	92,021千円	112,823千円
のれんの償却額	―	4,939千円

（重要な後発事象の注記）

当社は、2026年10月5日開催の取締役会において、株式会社With The World（以下、「With The World」）との間で株式交換を行うことを決議し、同日付で株式交換契約を締結いたしました。その後、2026年10月30日を効力日付として、当社を株式交換完全親会社、With The Worldを株式交換完全子会社とする株式交換を実施いたしました。

１．企業結合の概要

（１）結合当事企業の名称及びその事業の内容

結合当事企業名：株式会社With The World

事業の内容：国際教育事業・グローバル人材育成支援事業等

（２）企業結合を行った年月日

2026年10月30日（効力発生日）

（３）企業結合の法的形式

当社を株式交換完全親会社とし、With The Worldを株式交換完全子会社とする株式交換

（４）結合後企業の名称

変更はありません。

（５）その他取引の概要に関する事項

当社は、両社の事業シナジーの創出および企業価値の向上を図るため、With The Worldの株式を取得し、完全子会社化いたしました。なお、当社は会社法第796条第2項本文の規定に基づく簡易株式交換により実施しております。

２．株式交換に係る割当交付の内容

株式の割当比率 With The Worldの普通株式1株につき、当社の普通株式1,073.875株を割当交付いたしました。

交付した新株式数

当社普通株式：34,364株（全額新規発行）

取得した株式の数

32株（基準時における当社所有株式を除く発行済株式の全部）

発生したのれんの金額、のれんの発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

資本金及び資本準備金の変動

資本金の増加額：0円

資本準備金の増加額：会社計算規則第39条に従い当社が別途定める額

利益準備金の増加額：0円